

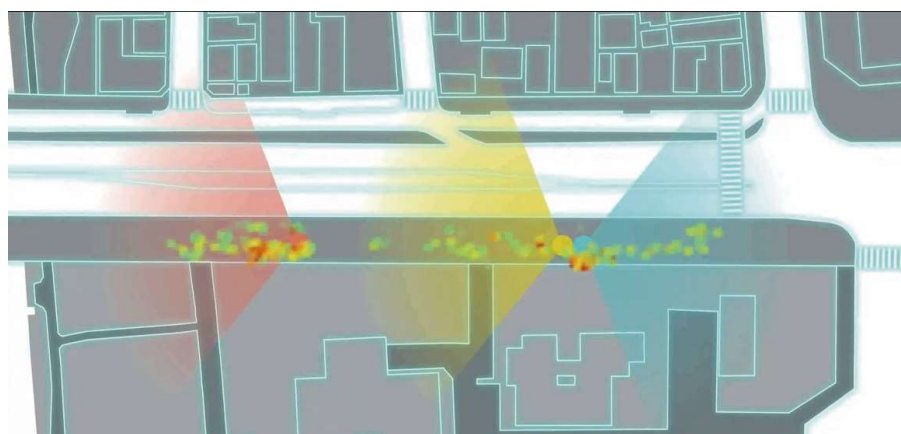
人流データで建物・公共空間の利用状況の改善や混雑緩和に貢献

課題

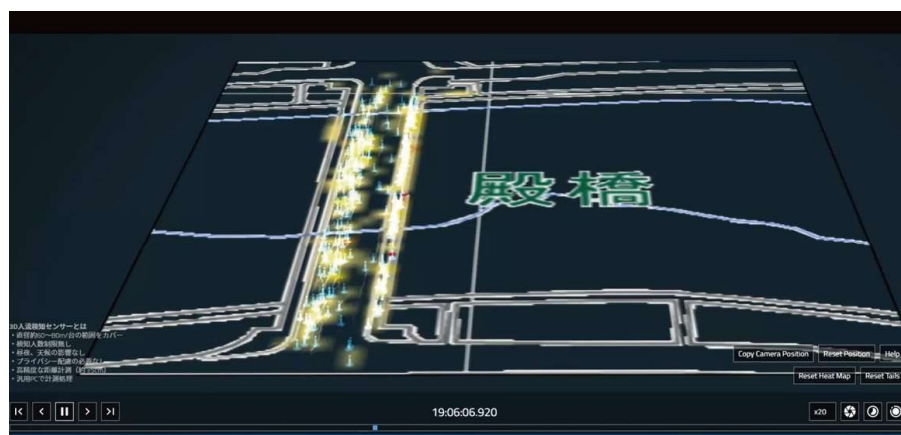
- ・建物や公共空間の使われ方を定量化できず、改善を進められない
- ・イベント等人が集まる場所での混雑緩和・誘導を現場の感覚に頼っている

解決

- ・数十～数百mの範囲の人流を詳細かつ精緻に可視化、分析
人流を可視化することで、利用実態の把握、データに基づいた分析を実現
 - ・リアルタイムに人流を可視化
サイネージでのリアルタイム混雑度表示や混雑誘導の支援に活用可能
- ※当ソリューションは個人特定を行わず、端末に個人情報を保持しません。



人流や混雑状況を
リアルタイムに可視化



計測データは次回開催や
他イベントの計画にも活用

<事例>岡崎城下家康公夏まつり第76回花火大会